令和４年度　自己評価・学校関係者評価書（結果公表シート）

令和５年５月３１日

認定こども園東海幼稚園

１　幼稚園の教育目標

1　心身共に健やかに明るく、進んで遊びやその仲間に加われる自主性に富んだ子供に教育する。 2　あやまちは素直に反省し、責任感を持ちうる子どもに教育する。 3　生き物とのふれあいを通し、命の大切さを実感し、生かし合い世の中のためにつくすということが出切る子供に教育する。 4　恵まれていることを喜び感謝し、自ら使命を果たす子供に教育する。

２　本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

前年度同様、基本的な生活習慣を身につけ、生活全般を楽しめる子どもを育てるとともに、個にあった援助を強化し、子ども一人ひとりの良さを引き出し、生きる力を育てる。

３　評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	反省並びに改善策	評価	関係者評価
保育の計画性	B	以前に比べ、計画通りに行えることは多かったが、コロナ禍で中止していた活動や行事では“知らない人が多い”を前提にさらに細かな計画が必要だった。	B	予想されることを様々な角度から想定し、更に細かなところまで計画できると良かったのではないか。
保育のあり方幼児への対応	B	個を大切にしながらも、全体把握の難しさを改めて感じることが多かった。	B	一人ひとりを大切に保育している姿が見られた。
教師として資質能力、適正等	B	教師間での連携を図り、協力し合うことができた。	B	前年度の反省を生かし、園全体として教師の資質向上を目指して協力し合う姿が見られた。

保護者への対応	C	８月の保護者からの指摘を受け、園全体として反省し、すぐに改善して対応することができたが、注意されるまで気付かなかったことに教職員の更なる意識改善が必要だと思った。	C	特定の園児の忘れ物の多さや、指摘内容は十分に反省すべき事である。 今後更なる改善を求める。 （改善策は見られた）
地域の自然や地域との関わり	B	３年ぶりに参加できた行事もあり、地域の方々との交流も少しできた。	A	意欲的に地域の行事に関わる姿が見られ良かった。
研修と研究	B	コロナの為、外部への研修参加人数は限られていたが、ここで研修を受けたり、園内での話し合い回数を増やしたことで教師間の共通課題の改善に繋がった。	B	毎日１５分、月毎メンバーを変えるなど、教師間の意識改善に繋がる園内研修ができたのではないかと思った。
外部アンケート	B	子育てアンケートは毎回行ったが、コロナ感染で中止することもあり、回数が少なかった。	B	外部からの意見を参考に次に繋げようとする姿が見られた。

A　十分に成果があった　B　成果があった　C　少し成果があった　D　成果がなかった

４　本年度の重点課題の総合的な評価結果

教師一人ひとりが重点課題を理解し、園児一人ひとりの育ちと全体としての育ちに目を向け、取り組む姿が見られた。

５　今後取り組むべき課題

課　題	具体的な取り組み方法
「みんな一緒」に囚われすぎるのではなく、一人ひとりに寄り添った柔軟な保育をする。	ペア活動の重視→子ども同士の繋がり強化 教師間の同僚性強化→問題解決、共通意識（認識） 教師と園児の信頼強化→子どもを取り巻く環境への配慮 （平等ではなく公平を目指して）

６　学校関係者評価委員会からのコメント

園の特色を生かし、一人ひとりが大切にされ、みんなが居心地の良い園を目指し、全教職員で協力し続けて下さい。